

## 「リハビリテーションって!？」

平成27年9月18日の(金)の公開研修会は「リハビリテーションって!？」と題して、鴻池荘訪問リハビリテーション理学療法士の中村さんを講師に、明日香村健康福祉センターで開催させて頂きました。



はじめに、リハビリテーションとは障害のある人々や高齢者・その家族にとって、これからも住み慣れたところでそこに住む人々とともに、いきいきとした生活が送れるよう医療・保健・福祉及び生活に関わるあらゆる人々が協力し合っを行なう活動のすべてであると説明がありました。その中で、ご本人の想いを聞き目標を設定することが大切で、その方の想い・目標を実現するために私たち専門職やご家族・地域の方々がチームとなって、それぞれの立場で役割を担うことが重要だと伝えられました。例えば、ヘルパーがご本人の何気ない一言から「家のお風呂に入りたい」という想いを受け止めて、ケアマネジャーに伝えたことで、セラピストの評価により、その先にある「綺麗になったらまた孫と遊びたい」という想いに気づいて、チームで情報を共有し、支援を行っていくということであると伝えられました。

次に事例を参考に、医療・福祉・行政・民政などの多職種が参加され、グループワークを行いました。一人暮らしの男性の退院から在宅復帰までの支援を通じて、それぞれの立場から、ご本人の想い・その先にある目標・私たちにできる役割について話し合いました。各グループごとの発表では、「地域の人を巻き込んで、楽しみを見つけてあげたい」「これまでの人間関係を保ちながら、新たな関係性を築くことも大切ではないか」「家族、友人、馴染みの人などインフォーマルな資源だけで支援できないか」「ご本人の想いを尊重し、自己決定していただくことが大切」といった具体的な意見があがりました。

今回の研修会では、ケアマネジャーとして支援を必要としている人の「想い・目標」を知ることが重要であり、その目標を達成するために、関わる全ての人の役割が明確になるようにケアプランを立案しなければならぬと再認識しました。

